

実践を交えて学びました

―アントレプレナーズ事業を開催―

7月2日、すばやく加古川にて兵庫県青連アントレプレナーズ事業を執り行いました。

PDCAという生産を改善させるサイクルがありますが、それをさらに実践向きにした「ODA(ウーダ)ループ」という戦術を学びました。また、実践に活かす訓練として、レーザー銃を使用したサバイバルゲームを行い、その場で対戦の条件をつけて事前にODAループを行い、兵庫県青連の仲間と地域の枠を超えて協力し合う機会を設けました。大変暑い中でしたが、夏の暑さに負けないくらい参加者も熱く対戦し、絆を深めることができました。同時にペタンクも行い、こちらもODAループを対戦前に取り入れることで、短時間で戦略的に取り組む学びと実践を行いました。

アントレ終了後は、昼間の喉の渇きを潤すように皆で懇親の時間を設け、お互いの活動を共有し有意義な時間となりました。
(資質向上室 室長 杉浦 元記)

加古川市の子供の夢を叶え隊!

―7月例会を開催―

7月16日、7月例会「子供の夢を叶え隊!ワクワク大発表会」を開催しました。今年度は「加古川の子供の夢を叶えよう」を年間事業として未来創造委員会が担当しています。

12月に子供たちの一つの夢を実現する為に、まず、どんな夢を抱いているか「夢のアンケート」を実施しました。約1,300通の素敵な夢アンケート応募の回答をいただきました。子供たちの夢に私たちが運営側も大変興味があり、アンケート回答を確認しながら、気づいたらワクワクしていました。そして多くの夢に「加古川市を今よりもきれいにするための清掃活動」「加古川により活気づいてほしい」など加古川市に対するより良い思いが「夢」の一部になっていることにもうれしく感じました。子供たち一人一人がアンケートに素敵な夢を応募してくれたので、私たちも真剣な気持ちで選定をさせていただき、どれも素敵な夢でしたが、その中から10人の夢を選出しました。そして代表となった

子供たちの発表の場を設けたのが今回の7月例会です。

10チームに分かれて子供たちとYEGメンバーで夢について色々な意見を交わし、発表して頂きました。そして、その10個の素敵な夢の中から一つの最優秀賞の夢を選びました。想像以上に具体的な夢を描いている子どもたち、そして、その夢を本当に実現したいと思う熱意が伝わってきました。大人が沢山いる中でも堂々と発表する子供たちの姿にYEGメンバー一同が感動を覚えました。また、メンバー一人一人が夢を持つことの大切さを改めて実感し、メンバー間の中でも「すごく感動をもらえた」などメンバーの活力になった例会でした。最優秀賞に選ばれた夢は、今後12月に全力で実現させますのでどうぞお楽しみに!!

ご参加頂いた子供たち、保護者様ありがとうございました。
(未来創造委員会 副委員長 冲中 尚平)



会長が復活させたかった事業が実現に向かっていきます

懇親会で近況報告に花が咲く

―納涼会を開催―

8月4日、東京田村特別室にて納涼会を開催しました。

新型コロナウイルス第7波感染拡大の影響で急遽お弁当に切り替え、持ち帰った方もいましたが、ほとんどのの方がそのまま懇親会に参加しました。

紅白の水引のかかった2段重のお弁当を目の前にして、まずは各メンバーから2分程度の近況報告を行いました。今迄の仕事とは別に長年の夢を実現し、新しい事業を立ち上げたことをキラキラした目で報告した方、朝食前の脳の働きが良いと聞き毎朝4時半に起きて、免疫力を上げるため健康管理に気を付けている方など様々な報告があり、話に花が咲きました。



色鮮やかなお弁当を楽しみました

その後、季節感満載で、鮮やかなお弁当に舌鼓を打ちました。今年はお弁当まつりを開催する予定ですので、皆さまお楽しみに!

(会計理事 竹中 眞利子)